

戦艦ミズーリで考えた【水高記者DIARY】

2月20日

地域 島根

2024/3/25 (最終更新: 2024/3/25)

島根県水産練習船「神海丸」に乗り込み、ハワイ沖で実習に取り組む浜田水産高(同県浜田市)海洋技術科2年生、関蒼太朗さん(17)=広島市中区出身=が船上の日々を記します。



戦艦ミズーリの艦上で記念撮影する関さん(3列目左から4人目)たち

2月20日 北緯21度59分 西経157度53分

浜田出港後32日目。今日はハワイの名所をバスで巡ります。

まず訪れたのはえひめ丸の慰霊碑。以前紹介した通り、愛媛県立宇和島水産高の実習船で、2001年にハワイ沖で事故にあい沈没しました。碑は事故の概要や犠牲となった方々の名前を記し、えひめ丸の遺品であるいかりも置いてあります。事故現場である海を見ながら黙とうしました。

次は誰もが一度は写真を見たことあるであろうカメハメハ大王像です。皆で並んで写真を撮ろうとした時、通りすがりの婦人がそれとなく列に混ざり、まさかの(1人多い)30人で写真を撮ることになりました。

続いて向かったのはモアナルア・ガーデン。日立のCMに出てくる「この木なんの木」の木がある場所です。私は園内の川を見に行っていたのですが、ティラピアとプレコ、それからボラしか見つけることができませんでした。

さらに30分ほど移動し戦艦ミズーリ記念館へ。実は一度来てみたい場所でした。ミズーリはアイオワ級戦艦の3番艦で、第2次世界大戦を始め、朝鮮戦争や湾岸戦争にも出動した、まさに「世界最後の戦艦」です。太平洋戦争で日本側が降伏文書にサインしたのもこのミズーリの艦上でした。

多くの展示が私の興味をひきましたが、一番印象に残ったのが1945年の沖縄戦で特攻機が突っ込んだ跡でした。この跡は戦争が持つ狂気を如実に語っていました。

ミズーリも多くの人の命を奪った凶器。私は武器が人を殺すのではなく、人が人を殺すのだと信じています。ですが、ミズーリに突っ込んで命が奪われたという事実は、本当にその考えが正しいのかと問いかけてきました。

いつの日か、答えを出すことができれば、またこの場所に戻ってきたいです。その日までこの艦が残されていることを願います。

(浜田水産高海洋技術科2年・関蒼太郎)